

国際食資源学院 アセスメント・チェックリスト

国際食資源学院(修士課程)の学位授与水準(DP)

DP1: 世界が直面する多様かつ重層的な食資源問題に対する幅広い知識とその深い理解力を身につけている。
DP2: 国際的に活躍できるコミュニケーション能力を身につけている。
DP3: 問題を的確に捉える洞察力と分析力を身につけている。
DP4: 課題解決に向けた方策を提案し企画・立案する能力、および高い研究推進力を身につけている。
DP5: リーダーとしての行動力とその自覚をもつ精神力を身につけている。
DP6: 食資源問題を解決する専門家として職業を担うことのできる能力を身につけている。

国際食資源学院(博士後期課程)の学位授与水準(DP)

DP1: 自ら発見した課題に取り組むため、研究現場の様々な困難を克服できる。
DP2: 文理融合を基礎にして、俯瞰的に問題の核心を発見できる。
DP3: これまで学んだ食・水・土資源の知識を生産領域・環境領域・社会領域の観点から包括的に統合して、独自の課題解決方法を提案できる。
DP4: 課題を研究成果により解決するため、具体的な技術及び政策を提案できる。
DP5: 提案した企画を現場で実践するためのリーダーシップを発揮する人間力を身につけている。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	5月, 7月, 11月, 1月	毎年	(修士)1~2年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学修状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し、教員に教育方法改善の指針を与える。	国際食資源学院
2	成績評価	4月, 10月	毎年	(修士)1~2年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	指導教員	成績をもとに履修指導を行う。	国際食資源学院
3	大学院生調査	随時	1年に 1回	(修士)1~2年生 (博士)1~3年生	・学修状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改善の参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	2~3月	毎年	(修士)2年生 (博士)3年生	・カリキュラム, 研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	国際食資源学院
5	企業等調査 (就職先調査)	1~3月	3年に 1回	修了生の就職先	・修了生の評価, 求める能力等	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改善を検討する。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	4年に 1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング, カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	教務・学生委員会	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを見直す。	国際食資源学院